



いちよう

山形市立第四小学校
校長 村上 ゆかり
〈児童数 189名〉

〒990-0055

山形市相生町4番37号

TEL 623-6019

FAX 633-9321

「明日も来たくなる学校」にするために

～5/10（火）全校朝会・校長講話から～

グラウンドでは、毎日全力で走る子どもたちの姿が見られます。今週の月曜日、全校生に向けて、今年の運動会の持ち方とともに、体育主任の岩田教諭から「速く走るためのポイント」を動画で紹介してもらいました。『歩幅を広く』『回転を速く』することは同じだけれど、実際の動きに結びつけるコツは人それぞれです。自分に合った方法を見つけてください」の言葉に、高学年はもちろんのこと、低学年でもあっても友達の動きを真似したり、何度も試したりする様子が見られました。学年ごとのダンスとともに、それぞれの徒競走がとても楽しみです。

さて、今週の火曜日には、次の内容で放送による校長講話を行いました。

みなさん おはようございます。

令和4年度がスタートして、1ヶ月が過ぎました。4月の始業式にみなさんにお願いをしたことを覚えていますか？それは「明日も来たくなる学校にしましょう！」ということです。この1ヶ月でみなさんから、学校に来たくなるアイデアをたくさん教えてもらいました。今日は、その中から2つ紹介します。

1つ目は、「すてきなあいさつ」です。校長先生は、1年生から6年生まで、毎日いろいろな人とあいさつしましたが、四小のみなさんは、あいさつがとてもすてきだと思っています。

すてきだと思ったポイントその1は、「明るい声であいさつができる」ということです。おはようございます → おはようございます この明るいあいさつで、心にエネルギーをもらえてパワーアップします。その2は、「場所や場面に合わせたあいさつができる」ということです。朝、玄関で会ったときには、もちろん大きな声であいさつしてくれますが、授業中やお客様とお話しているときは、静かな声であいさつしたり、お辞儀をしてくれたりするときもあります。会釈も、とてもすてきな挨拶ですね。今、みなさんは放送でお話をきいています。放送でも、きちんとお辞儀をしている人がたくさんいると聞きました。会釈やお辞儀はコロナでも気持ちを伝えられる素敵なあいさつです。「すてきなあいさつ」をぜひこれからも続けていってほしいです。

学校に来たくなるアイデアの2つめは、「できないことができるようになる」ことです。できないことができるようになるといえば、そう「ドラえもん」です。



ドラえもんは、できないことをできるようにしてくれるたくさんの道具をもっていますよね。ドラえもんの道具は、いったい いくつあるか知っていますか？
校長先生が子どもの時は、１２９３個と聞きましたが、今では２０００個以上あるそうです。ドラえもんの道具には「どこでもドア」「スモールライト」のように、まだ現在実際にはできていないものもありますが、校長先生が子どもの時に、「あったらいいなあ」と思っていて、今ではもう本当にできている道具もたくさんあるんです。

例えば、「遠くの人とも 顔を見ながら話ができる」『スマートフォン』

そっくりの人形や立体をつくれる「３Ｄプリンター」

自分の歌に、点数をつけてくれる「カラオケマシーン」などです。

今は、「無理」と思っているものも、みなさんが大人になるまでに本当にできることが、きっとたくさんあると思います。きのうまでできなかったことが、学校でチャレンジして、できるようになったら、一人ではできなくてもお友だちと一緒にできるようになったら、「明日もまた来たい」と思えますよね。

明日も来たくなる学校にするための、アイデアを毎日募集しています。ぜひ、校長先生に、担任の先生に教えてください。

みんなで、四小を「明日も来たい学校」にしていきましょう。

講話のあと、ある教室の黒板には「明日も来たくなる学校」にするためのアイデアがたくさん書かれていました。ぜひ、また紹介したいと思います。



つながりガーデンは、みんなの人気スポット心がほんわかします。



１年生も上手に給食準備ができるようになっていきます。